

(11) 新野幌第2土地区画整理事業

本地区は、大麻駅南側に位置し、国道12号と道立野幌森林公園に挟まれた地域で、そのほとんどが農地と沢地であったが、国鉄(JR)函館本線と国道12号が地区北側を走り、交通の便が良かった。また、函館本線を挟んだ北側には北海道により造成された大麻団地、西側には造成が完了した土地区画整理事業(新野幌)地区があり、これらの影響を受け急速に住宅地としての発展傾向が現れていた。

こうした状況から、自然の沢地を活かした公園等の都市施設の整備改善を行い、健全な市街地造成を図った。

地区の南側には、世界有数の平地原生林である道立野幌森林公園(2,053ha)が広がり、バードウォッチング、散策、歩くスキー等自然とのふれあいを楽しめる。

《事業概要》

施 行 者	組合	公 共 減 歩 率	22.7%
施 行 面 積	61.3ha	保 留 地 減 歩 率	17.5%
施 行 期 間	昭和50~62年度	合 算 減 歩 率	40.2%
総 事 業 費	3,035,504千円	公 共 用 地 率	27.6%
設 立 認 可	昭和50年 5月28日	都 市 計 画 道 路	0.8ha (1.1km)
認 可 公 告	昭和50年 6月 3日	区 画 道 路	13.6ha (16.4km)
仮 換 地 指 定	昭和53年11月23日	公 園 ・ 緑 地	2.2ha
換 地 処 分 の 公 告	昭和56年 1月20日	そ の 他 公 共 用 地	0.3ha
解 散 認 可 公 告	昭和62年 5月11日	保 留 地 面 積	10.1ha

《区域図》

